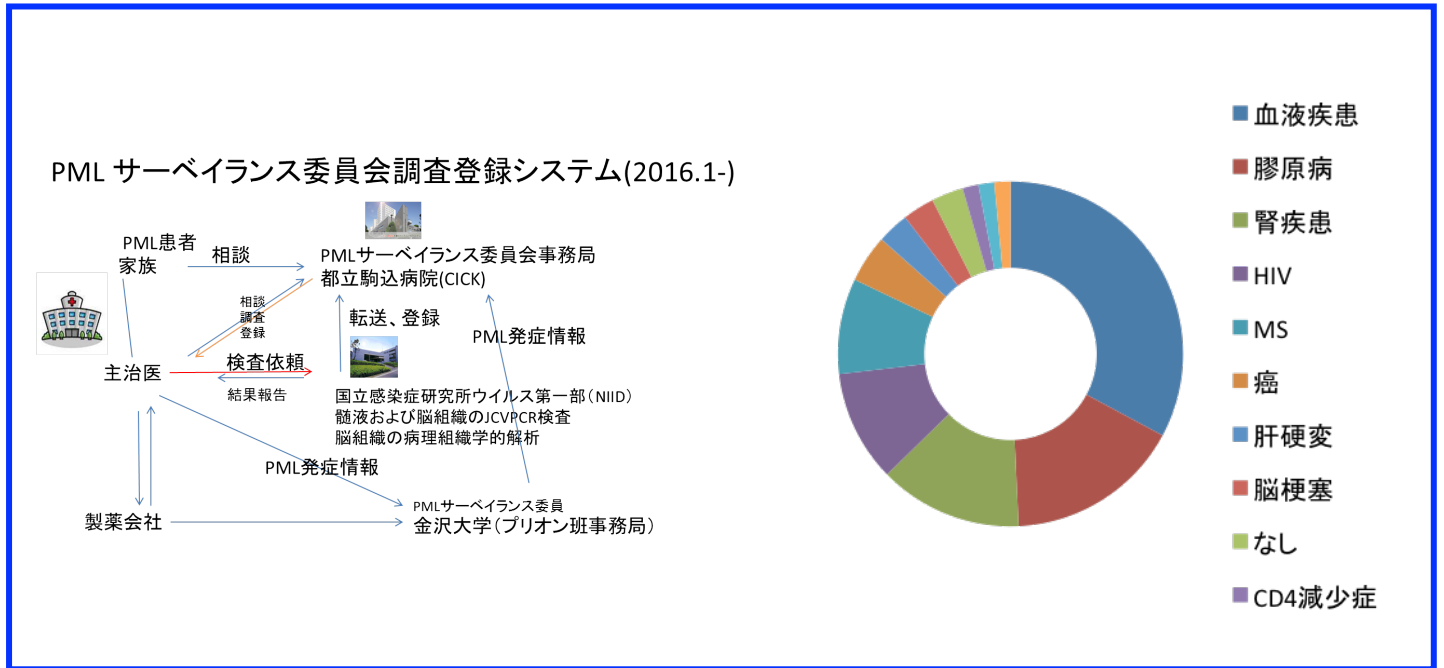


本邦発症PML患者に対する新規サーベイランスシステムの確立

研究分担者： 東京都立駒込病院脳神経内科 三浦義治



解説

1. 本研究の目的は、従来のPML調査システムを改善し、新規サーベイランスシステムを構築してPMLの診断基準、重症度分類策定、改訂のための疫学調査を行うことである。
2. 平成28年1月よりPMLサーベイランス委員会による新規症例登録システムを開始した。このシステムは複数施設にサーベイランス委員を配置し、PML症例発症施設からの臨床調査票を事務局を中心に症例登録して情報収集を行う登録システムである。
3. このシステムにて平成29年1月までに93症例の情報収集が行われ、(年齢：60.1±17.1)、44件の主治医承諾書取得(登録)、44件の調査票取得、40件の脳MRI画像CD取得がなされた。この中に多発性硬化症の再発予防薬であるフィンゴリモド使用に伴う進行性多巣性白質脳症が3例(臨床的確定診断)含まれていた。疑い症例を含む集計では基礎疾患は血液疾患、膠原病、腎疾患、HIV感染症、多発性硬化症の順に多かった。